

遠賀川と人と

窪山 邦彦氏

NPO法人遠賀川流域住民の会理事長



「念願でありました『遠賀川流域リーダーサミット』が無事終了しました。ありがとうございました」と、「遠賀川流域住民の会」の世話人会でいさつされた窪山邦彦さんのほつとした顔に、第二弾・三弾…と続くサミットへの新たな想いが膨らんでいました。

回を重ねるごとに、芦屋町

の海岸に流れ着くごみ処理費用が約3千万円かかること、漁業への被害、観光地として景観が損なわれるなど、芦屋町全体がごみによる経済的損失が大きいことが分かり、心を痛められたといいます。

窪山さんは「芦屋町だけの問題ではない、流域全体の問題」とし、流域の団体に呼びかけ、取り組みを進めてきましたが、やはり、住民団体だけでは限りがあり、「遠賀川の水問題・ごみ問題は、流域

「遠賀川流域リーダーサミット」を終えて

今から7年前、清掃活動や環境問題に取り組んでいる団体が集まって「遠賀川流域住民の会」を結成。その年の9月22日に「芦屋海岸がごみでいっぱいだ。上流に住む我々の問題である」と、上流の住民や団体に呼びかけ「第一回芦屋海岸クリーンキャンペーン」を実施されました。

の自治体のトップの方々、行政に携わる人々が一堂に会して論議することが必要」と、開催を待ち望んでいました。

広がる清掃活動の輪



「I LOVE遠賀川」から、スタートした清掃活動は、川をきれいにしたいという流域住民団体の熱い思いとなつて広がり、昨年10月に「I LOVE遠賀川」として取り組まれた団体は、二十団体以上ありました。

今後は、清掃活動をしながら楽しく川と親しめる企画を実施して手をつなぎ大きな輪を作り、私たちの命の源『母なる川・遠賀川』が美しい川となるようみんなでがんばりたいとのことで

遠賀川流域だより

第007号
2008・3・1

されています。三千人以上の人が遠賀川の河川敷に集い清掃しながら、川と親しんでいるということです。

この活動のきっかけは「菜の花や緑で美しい川なのにごみが散乱してもつたらない」という曾根靖史さん（「I LOVE遠賀川」実行委員長）の言葉だといわれます。

飯塚市で10月の第二日曜日に開催されている「I LOVE遠賀川」は昨年で二十回目を迎えました。

窪山さんは「I LOVE遠賀川」の事務局長としても活躍

I LOVE遠賀川流域リーダーサミット

第2部 市長・町長によるパネルディスカッション



(左から) コーディネーター曾根靖史氏、松岡賛嘉麻市長、齊藤守史飯塚市長、向野敏昭直方市長、伊藤信勝田川市長、松下俊男中間市長、波多野茂丸芦屋町長、津森貴行国土交通省遠賀川河川事務所所長

犬鳴川のほとりで育ち、川への思いは人一倍と話された直方市の向野敏昭市長は、「芦屋海岸の漂着ごみや不法投棄のごみの多さに胸をいためた。心ない人に心ある人に代えていく努力をしたい」と話された。

— I
LOVE 遠賀川

の発祥の地の飯塚市の齊藤守史市長は「ボランティア活動の力は大きい。幼い時に川遊びや、川と関わりのある催しに参加することで、身近な川に思いが強くなつてくる」と話された。

遠賀川は古代よりこれから母なる川です。その川がごます。何とかしようと流域をす。今回の「流域リーダーシップ」で町長が始めて遠賀川の現状を向けて討議しました。

流域で暮らす私たちの
や水質の悪化で泣いてい
住民が連携し活動していま
「ミット」は自治体の市長、
と共有し、自治体の連携へ
田川市の伊藤信勝市長は、
「毎年15万人が訪れる川渡
り神幸祭で、小学生が作つ
たごみ箱が彦山川一帯のポ
イ捨てを防いでいるが、ご
みは根本的に出さないデ。ボ
ジット制度の導入が必要」
と話された。

遠賀川のごみの現状 津森貴行遠賀川河川事務所長

河川巡視によつてごみが発見されたのは一七〇〇件、河口堰に漂着したごみの処理費3千万円。家庭用のごみ袋で5万袋です。地域と共同で管理や、河川パトロール、堤防の除草をしている所は不法投棄の減少につながっています。

ごみが少ないところ

- ・河川敷が公園として活用されている。
- ・河川利用者が多い。
- ・見通しがよく人の手入れが行き届いている。
- ・いつもきれい。

I LOVE遠賀川流域リーダーサミット

第1部 遠賀川の活動事例発表

時任英雄さんには「LOVE遠賀川」の取り組みを報告いただきました。秋の市民の定期行事として定着。現在では50以上の中企業や団体の参加で3千人以上が参加している。ごみを拾いましょうという活動から、参加の輪が拡がって「母なる遠賀川」を愛し、優しい目を向け、私たちにとつて大切な川であるという認識が多くの人々に浸透している。

植樹は、子どもも楽しく
かかわることができるが、
下草刈りは夏の炎天下、大
変である。多くの方の応援
で作業ができる。近年この
森林が荒廃してきている。
山が荒れると、水の保水力
がなくなり木々が倒れ、大
雨によって川に流される。
山の管理が大切である。

澤田憲孝さんには「宮若川づくり交流会」の取り組みを、報告いただきました。昭和50年、現犬鳴トンネルの開通に伴い旧犬鳴峠にゴミの不法投棄が多くなり、30年来のゴミがそのまま放置されてきた。

今「ごみを子孫に残さない」ために旧道のごみを撤去している。また、ゴミが捨てられない環境を作るために地域では、ごみを片付けて、ゲートを作り、朝夕の開閉を行つてある。

り組んでおりま
しかし毎年の水質調査結果では九州の一級河川ではワースト1～3位が続いています。この原因は、流域5万人アンケート調査結果から七割の人が家庭からの生活排水と答えています。汚染の原因是分かつていますが、なかなか改善されていません。その対策は、下水道の整備・集落合併浄化槽・家庭合併浄化槽等の整備が遅れていることも原因の一つと考えられます。

遠賀川流域を取り巻く河川環境においても河川敷へのごみ不法投棄や山間地での産業廃棄物の不法投棄・森林の荒廃などの問題があります。大雨の時には上流からゴミが河口に流出してきます。その際、河口堰に多量のゴミが到達している状態です。そのごみの内訳を見て見ると、自然系八割、人工系二割となり、平成18年度は3千万円もの処理費用がかかりました。

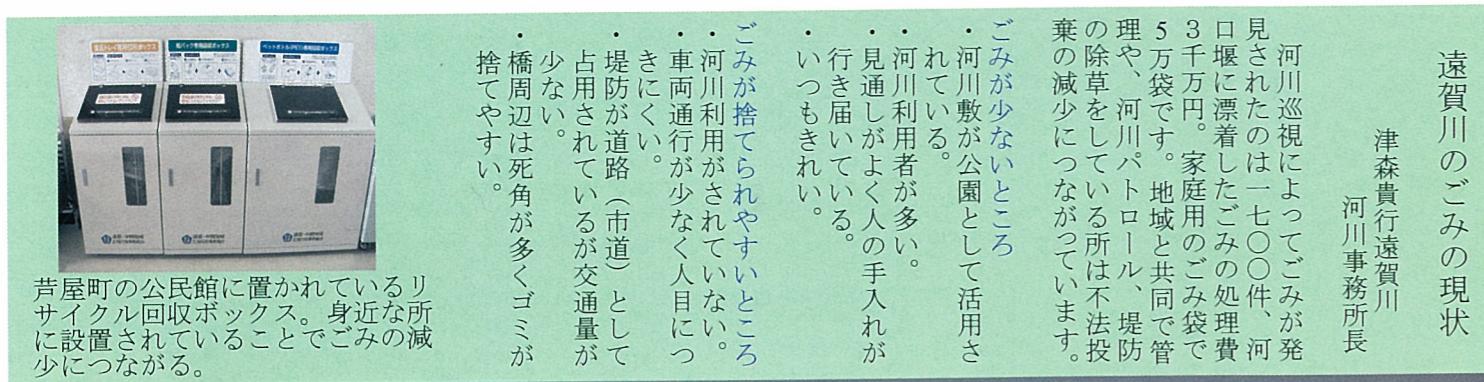
私たちの「命の水」が危険な状態であることを流域自治体や流域住民が認識し、一日でも早い取り組みが必要と遠賀川水フオーラムを開催いたしました。

平成20年1月20日(日)長崎街道木屋瀬記念館こやのせ座(北九州市八幡西区木屋瀬)で「I LOVE E遠賀川流域リーダーサミット遠賀川水フオーラム・・・水環境を考える・・・」が、国土交通省遠賀川河川事務所・NPO法人遠賀川流域住民の共催で開催。当日は雨の中にもかかわらず、住民や行政に携わる人々が多数参加され、流域住民の大切な「命の水」についての論議がなされました。

海岸クリーンキャンペー
ン」の取り組みを報告いた
だきました。

梅雨時になると大雨で大
量のゴミが芦屋海岸に流れ
着く。漂着したごみは上流
住民の責任として住民に呼
びかけクリーンキャンペー
ンを行つてゐる。

水フオーテン



若屋町の公民館に置かれているリサイクル回収ボックス。身近な所に設置されていることでごみの減少につながる。

遠賀川の歴史を散策しました なかま川づきあい交流会

10月13日（土）、住民団体と行政機関（遠賀川河川事務所・福岡県・中間市）で遠賀川の治水の歴史に欠かせない堀川（福岡県管理）を総勢30名で散策しました。住民団体及び行政機関との情報交流を目的に組織する「なかま川づきあい交流会」で企画されたものです。



堀川の歴史

堀川は、遠賀川の水勢緩和、かんがい及び遠賀川上流から物資を運ぶ距離を短縮せしむる。江戸時代

（1621年）から長い年月を
かけ、人の力で開削された
歴史的に価値の高い運河で
す。

しかし、数十年前から生活雑排水やごみ等が原因で汚染されてしまいました。このような状況に対して取り組んでいる住民団体に現地を案内してもらい、堀川の歴史について学びました。堀川の上流から下流まで貴重な説明を受けながら歩くのは初めての試みで大変な盛況ぶりでした。



堀川の歴史

堀川の歴史

遠賀川の水を洞海に導いた堀川。五平太舟で、人を米を石炭を運び、筑豊の暮らしと近代産業を支えてきた堀川。

堀川は北九州市八幡西区楠橋の寿命から、若松区の洞海湾までの総長12kmを、人力で掘られた運河です。

昔から遠賀平野は、大雨による遠賀川の洪水で幾度となく田畠に大被害を受けていました。

時の藩主、黒田長政は、洪水の調整、かんがい用水の確保、耕地面積の拡大、年貢米の輸送などの目的で、洞海湾に水を流す人工河川を決意。一六二一年、家老栗山大善に命じて運河開さく工事に着手しました。

工事は地盤が軟らかいため難工事となり、また、長政の死去、黒田騒動、藩財政等によって中断、百三十年後、六代藩主継高によつて、ようやく再開されました。

再開した工事は底井野村の一田久作があたりました。吉田車返しの岩盤の切り貫きは最大の難工事でしたが、人力のみで工事を完遂させました。現在も岩

I LOVE遠賀川流域リーダーサミット 第3部 演劇「筑前ナッチョラン節」



現在の堀川は流れもなく、どぶ川のようになっています。このことに心痛めた「堀川再生の会・五平太」の皆さんには、毎週金曜日に河守神社などで清掃活動とEM活性液を投入し、昔のような堀川を取り戻したいと活動されています。

今回、吉田車返開さく250年にあたり、今を生きる私たちが、堀川の歴史的背景や多くの人々の貢献があつたことを忘れることなく、自然と人が共生し合う堀川の再生に本気で取り組み、大切な子らに残していきたい、という「堀川再生の会・五平太」の呼びかけで一座が結成されました。

「堀川五平太座」の座員の皆さんには普段は学生や主婦、商店主や学校の先生、水巻町・福岡県北九州土木事務所・国土交通省遠賀川河川事務所の職員のみ



一座の座長中村恭子さん（中央左）

なぎん、原作は霜川遠志氏。演出
出は元県職員で、劇団「やしや
ぶし」を主宰されている隅田知
明氏。

遠賀川の水を洞海湾に導き、
また、唐戸の水門を完成させた
「一田久作」の情熱や彼を支え
た家族や友人・村人など、一座
のみなさんの迫力ある演技で、
堀川の誕生の時代背景を知るこ
とができました。

この演劇を機に一人でも多く
の人が堀川に触れ「堀川の誕生
の秘話」を知つていただき、難
工事に取り組んだ人々の姿に思
いをはせながら、次世代の子ども
も達に語り続けていくことの大
切さを感じ取つていただければ
と思います。

底井野村の若き石工久作は、工事が中断され、沼となつた堀川を見て「ナツチヨラン」と、怒り、自ら水路を貫通させるために、もつとも難所といわれた車返しの岩を切り抜き、水を洞海湾へ流す事を考えた。おはんはそんな久作にほれ夫婦となつた。藩の重臣、櫛橋又之進は「車返しの岩盤は鋤ではだめだ、何で掘る」と問い合わせた。がだめならノミでほる」と応えた。「自分が出来ないのであれば子どもや孫の代になつても、一人でもやりぬく、この工事は自分のためではない、子や孫のためである」と、櫛橋又之進に告げ、堀川貫通のための試し堀をするが、藩の許可が下りなかつた。女房おはんもあきらめかけていたが、13年後、櫛橋又之進が奉行になり、よいよ本工事が再開する。が、岩盤は固く、ノミの歯はぼろぼろ。それでも久作は石工棟梁として、難所である車返しの工事をおこない、20年から30年はかかるだろうといわれた工事を、7年間で、高さ20mの堅い岩山をノミで400mを切り抜いた。

しかし、車返しの工事に気を取られ、堀川運河の要である取水口の対応まで考えつかなかつた。土地の地盤が弱いため、堀川は貫通したが、洪水のたびに、被害は大きくなつた。久作家族はつらい日々を送つたが、櫛橋又之進にすすめられ、備前国（岡山県）吉井川の石唐戸を視察し、その仕組みを持ち帰つて、中間惣社山の硬い岩石をえぐり貫いて水門を完成させた。

一田久作が男子一生の仕事として堀川の完成に執念を燃やし、それを支えた女房おはんや3人の娘達、そして、竹馬の友の段四郎。

最終幕では嵐の日。唐戸水門で嵐に立ち向かい、ひたすら念じている久作とおはん。「自然是いつも同じ姿をしているのではないか。いつ仕返しをしてくるか分からない。戦いないのである」といつた久作の言葉。終わりのない自然との闘い。今を生きる私たちへのメッセージでもある。

「筑前ナツチヨラン節」は「堀川再生の会・五平太」の皆さんのが住民に呼びかけ結成された「堀川五平太座」の演劇です。昨年6月29日に立ち上げ、11月17日に水巻中央公民館で開催。そして、12月1日大分県別府市で行なわれたアジア太平洋「水」サミットのオーブニングイベントとして上演され、遠賀川堀川を広くアピールされました。

なぎん 原作は霜川遠志氏 演出は元県職員で、劇団「やしやぶし」を主宰している隅田知明氏。

底井野村の若き石工久作は、工事が中断され、沼となつた堀川を見て「ナツチヨラシ」と、怒り、自ら水路を貫通させるために、もつとも難所といわれた車返しの岩を切り抜き、水を洞海湾へ流す事を考えた。おはんはそんな久作に惚れ夫婦となつた。藩の重臣、櫛橋又之進は「車返しの岩盤は鍬ではだめだ、何で掘る」と問い、「鍬がだめならノミでほる」と応えた。「自分がほんならノミでほる」と答えた。

遠賀川に鮭が戻ってくるように

嘉麻市大隈に日本で唯一の鮭神社があります。毎年12月13日は五穀豊穣を祈る「鮭献祭」が行われ、その年に遠賀川に遡上してきた、鮭を鮭塚に奉納します。

例年遠賀川では、10月末から12月中旬に鮭が帰つてくるのが確認されるのですが、昨年は残念ながら確認することはできませんでした。

同日、鮭の発眼卵が各団体に届けられました。放流時期まで大切に飼育されています。

そして、5~7cmに育った鮭の稚魚を3月に遠賀川に放流します。鮭の稚魚は沢山の子ども達に見送られ、遠賀川を下り、アラスカへと旅たちます。



マイバック運動～レジ袋を減らそう～学習会

平成20年1月16日（水）イヅカコミニティーセンター（飯塚市）で「飯塚女性ネットワーク環境部会」の主催で、「マイバック運動～レジ袋を減らそう～学習会」が開催されました。

環境部会のみなさんは、限られた資源を大事に使うことや、水を汚さないで大切に使うこと、地球温暖化しないよう気をつけて省エネルギーに取り組むこと、ごみを出さないよう、毎日の暮らしを見直すことなど、日々活動されています。

今回「エコネットふくおか」「事務局長の小出まさるさん」「エコネットふくおか市民の会」での取り組みや、「マイバック推進ふくおか」や「マイバックの作り方などを教えていただきました。

また、消費者として、必要なものはいらないと、事業主に言つていくことも大切だと話されました。



ストッキングの包装で中の厚紙はいらないのでは。と小出さん。

飯塚女性ネットワーク 環境部会

遠賀川の広場

皆さんからお寄せいただきました遠賀川の様子をお届けいたします。

魚はねで鳥身構へる梅雨早
葭切の川面をたたく高音かな
葭切や水静かなる遠賀川
遠賀川ここぞ此處ぞと行々子

置き忘れられし古墳と行々子 可須奈

飛び出では芦へ隠れて吊巣雀 香春町 岡野 富司生

春の陽に銀鱗輝く鮭の稚魚 アラスカ目指し金辺川下る
日本野鳥の会 筑豊支部 松尾節朗

遠賀川の広場

皆さんからお寄せいただきました遠賀川の様子をお届けいたします。

飛び出では芦へ隠れて吊巣雀 香春町 岡野 富司生

春の陽に銀鱗輝く鮭の稚魚 アラスカ目指し金辺川下る
日本野鳥の会 筑豊支部 松尾節朗

飛び出では芦へ隠れて吊巣雀 香春町 岡野 富司生

パワフルリバーより

日本を支えた黒ダイヤ 五平太舟に抱かれて
福岡嘉麻市馬見山 恵みの雨を抱きしめ
山の神様送られて 六十と一キロの旅立ち
十の流れの力を借りて 木の葉の地域の
七つのシティと十五の町を行く
パワフルリバーより

浜木綿の花芦屋町 荒波寄せる玄海は
川から始まる人の暮らしは
川とふれ合い元気な日々を

今ある幸せ未来へつなげ パワフルリバーより

故郷思い自然を守る パワフルリバーより
歴史や文化を積み重ね

山から人里海原へ、役目をつなげて自然の輪
川の神様黒くなり 未来を信じて我慢した
時々怒って大洪水 感謝を忘れた人の心に
自然の強さを教えてくれた
パワフルリバーより

「パワフルリバーより」は吉田茂さんの作詞作曲で、楽しいメロディーで、元気が出る遠賀川応援歌です。皆さんと一緒に歌ってみませんか。

遠賀川河川事務所からのお知らせ

沈没船強制撤去!!

～国と福岡県が連携して実施(同時期に沈没船撤去)～

【遠賀川水系西川2隻を遠賀川河川事務所が行政代執行により撤去】

【遠賀川水系江川2隻を福岡県北九州土木事務所が簡易代執行により撤去】



代執行開始を宣言する津森遠賀川河川事務所長



クレーン車による吊り上げ(H20.2.14)



西川沈没船(H20.2.5)



西川沈没船(H20.2.14)

遠賀川水系の河川を管理する国交省と福岡県が連携して、それぞれが管理する河川において、治水上・河川管理上支障となっている沈没船を 同時期(H20.2.4、H20.2.14)に撤去しました。

遠賀川水系には約800隻の不法係留船があり、今後も福岡県とより一層の連携を行い、不法係留船対策を実施していく予定です。



不法係留はしないでください！
～河川内の船舶係留は違法です～

遠賀川流域だより

発行 國土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 (0949) 22-1830

FAX (0949) 22-2859

<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>

編集 NPO法人遠賀川流域住民の会

電話 080-1761-6892

<http://www.ongagawa.jp/>

遠賀川にも
菜の花が咲く季節に
なってきました。
ゴミのない中で、
いい景色を
楽しみたいですね。



お詫びと訂正

流域だより6号3ページの下段にある「飯塚市長屋町長の参加があり」は、「飯塚市長・地元芦屋町長の参加があり」の誤りでした。
関係各位にお詫びして訂正いたします。